

経営比較分析表（平成30年度決算）

茨城県笠間市 笠間市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
76,350	2,670	非該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

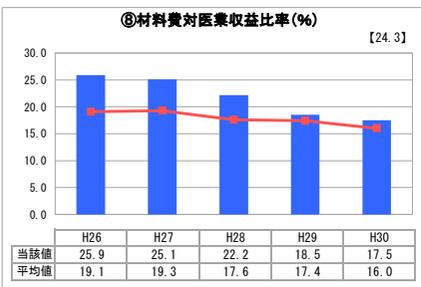
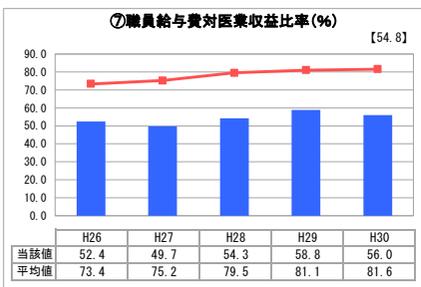
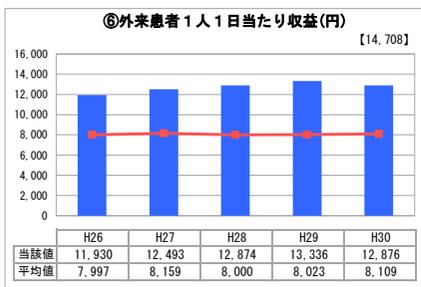
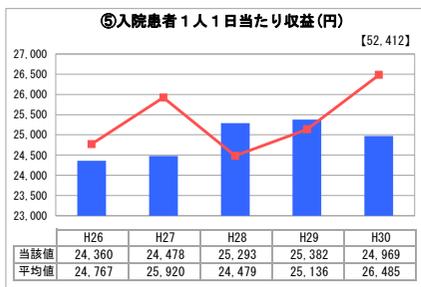
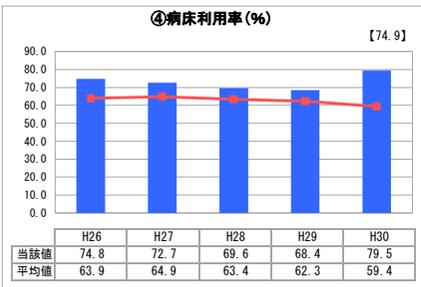
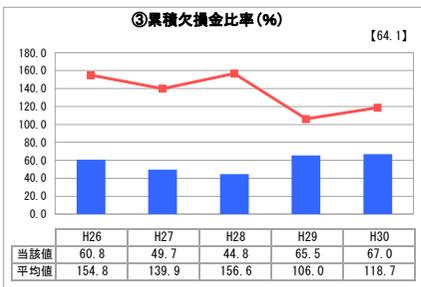
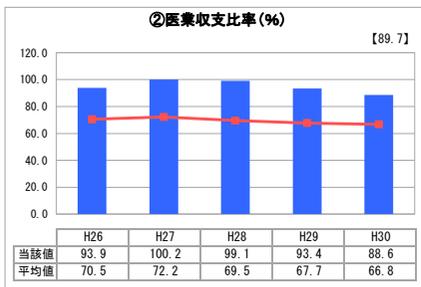
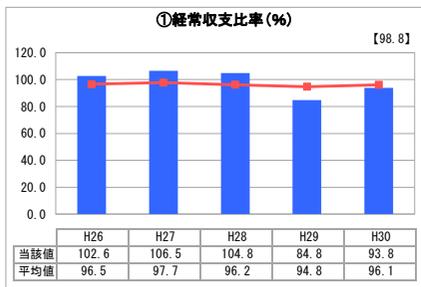
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
30	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	30
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
30	-	30

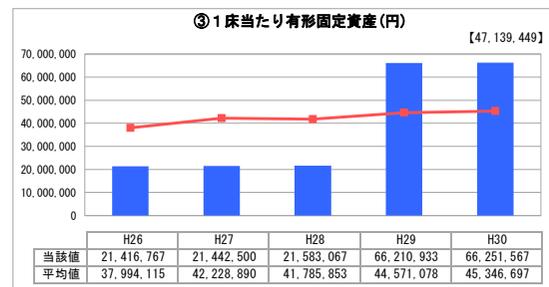
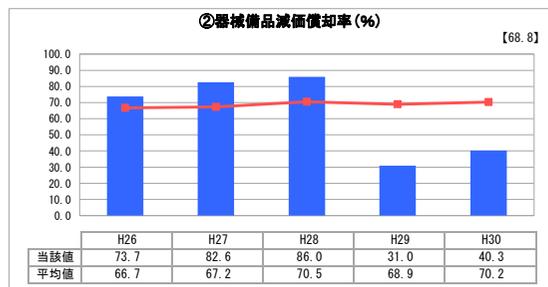
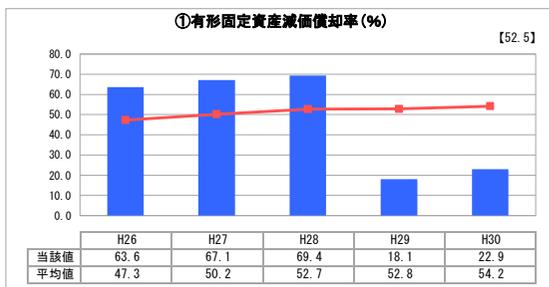
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域医療構想における回復期病床の必要性から、地域医療連携体制の確立のため以下の4つの役割を担っている。(1)入院設備の無い施設等の在宅医療を支援する後方支援病院。(2)回復期患者に対する入院加療の実施。(3)関係機関との連携による、保健予防・介護予防活動の推進。(4)平日夜間や日曜日など通常時間外の初期救急診療の実施。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似病院と比較して、①経常収支比率と⑤入院患者1人1日あたり収益は低くなっている。新病院建設に伴う減価償却費等が影響していること、地域包括ケア病床準備のため平均在院日数が延びることによる。一方、それ以外の指標においては、概ね類似病院より高く、特に⑥外来患者1日1人当たり収益が高く、⑦職員給与費対医業収益比率は低いことから外部委託化が図れており、健全で効率性の高い経営である。

現状、良好な経営ではあるが、市からの補助金等が含まれていること、新病院建設の影響で増大した減価償却費等の経費を考慮し、一層の収益確保に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形資産減価償却率は、類似病院と比較しても高い傾向であったが、前年度から新病院の建設により数値は大きく下がっている。

②器械備品減価償却率は、類似病院と比較して高い傾向であったが新病院建設に合わせて、機器類の更新等も進んだことで数値は大きく下がっている。

③1床当たり有形固定資産は、平成28年度までは類似団体の約半額であり、資産の更新が十分進んでいなかったが、大規模な施設や器械備品等の更新により大きく上昇している。

今後は、適宜機器の更新を行うなど、更新された資産管理を適切に行っていく。

全体総括

当院は、公立病院として政策医療を担っている。地域医療提供体制の確保の観点から、高齢者医療を担う機能をあわせもつ病院として、地域との連携を強化していく必要がある。

新病院は、保健センターや包括支援センターなどを併設しており、地域医療において当院の役割は一層重要になっている。

現状、経営の健全性や効率性は、類似病院と比較して概ね良好であるものの、市からの補助金等を受けている状況であることから、一層の健全化・効率化に努める必要がある。

政策医療については、経営に伴う収入をもつて賄うことが困難であるため、事業の実施には一定の市の負担が必要となるが、地域医療の確保のため、適切な連携を図っていくこととする。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。